

令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	46	学校名	静岡県立藤枝東高等学校	校長名	佐野文子
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
1	基本的な生活習慣と自律心の涵養を図る。	<p>ア 個人面談等を通して生徒の実態を把握し、カウンセリングマインドを持って接することで、自己肯定感を高め、前向きな学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>イ 各授業での具体的な方策を通して、欠席、遅刻、早退をせず、時間を大切にする意識を育てる。</p> <p>ウ 登下校指導や交通安全教室、原付グッドマナー講習会などを通じて安全意識を高める。</p> <p>エ 日常指導や行事を通じ、健康や命の大切さについて考えさせる。また、感染症予防を徹底する。</p>	<p>ア 面接週間以外で面談を実施した教員100%。 「相談できる教員がいる」と回答する生徒、保護者 80%以上</p> <p>イ 授業の遅刻・早退数が前年度より減少。</p> <p>ウ 通学時の交通事故0件。</p> <p>エ 「保健だより」の発行年5回以上。 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 75%。</p>	B	<p>ア ◎各担任の面接週間等での面接や、養護教諭を中心に全職員が生徒と積極的に関わり、実態把握できた。</p> <p>イ △遅刻、早退15回以上の生徒は7人で、前年度の6人から微増した。</p> <p>ウ ○通学時の交通事故は0件で、良好な状況であった。</p> <p>エ ○「保健だより」の発行年5回以上は達成できた。 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒は約44%にとどまった。</p>
2	学ぶ意欲を高め、基礎学力等の定着を図る。	<p>ア 生徒一人一人の理解度を把握し、発表や質問等を大切にする授業を行う。</p> <p>イ ICT機器の活用、教材の工夫等により、主体的な取組を促すとともに、授業を大切にする姿勢を高める。</p> <p>ウ 校内研修や教科研究会等の機会を有効に活用</p>	<p>ア 「授業がわかる」と回答する生徒 75%以上。</p> <p>イ 授業においてICTを効果的に活用している教員80%以上。</p> <p>ウ 年間3回以上の研修会</p>	B	<p>ア △「わかる」と回答した生徒が59%程度に留まった。</p> <p>イ △授業においてICTを効果的に活用できている教員は80%にいたっていない。</p> <p>ウ ○教科研修会や自己研鑽を通して、観点別学習評価の運用</p>

		<p>し、学習評価・授業改善を一層推進する。</p> <p>エ 基礎学力テスト（漢字、計算、英語等）を定期的実施し、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>の実施。生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上。</p> <p>エ 基礎学力テストの実施年間8回以上。資格検定へのチャレンジする生徒3人以上。</p>		<p>状況改善に尽力した。</p> <p>エ ○基礎学力テストは年8回の実施が出来た。 各種検定に挑戦する生徒は0人だった。</p>
3	<p>進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。</p>	<p>ア 進路講演会や進路セミナー、地域人材を活用した行事などを通して、学びと働くことの重要性を再確認させる。</p> <p>イ 総合的な探究の時間等を活用し、自らの在り方、生き方を考えさせる。</p>	<p>ア 進路行事参加後の振り返りによる肯定的な評価 70%以上。</p> <p>イ 「自分の良いところがわかる」と回答する生徒 70%以上。</p>	B	<p>ア ○外部機関と連携し、個々の生徒に対して進路セミナーや就職支援を行った。卒業生進路講話ではやく 80%が肯定的な回答であった。</p> <p>イ ◎総探・LHR の年間指導計画にキャリア教育のプログラムを組み込み、キャリア意識を向上させるための取組を組織的に実施することができた。 「自分の良いところがわかる」と回答した生徒は約 36%にとどまった。</p>
4	<p>多様な人々との協働を通して、社会性（コミュニケーション能力）の向上を図る。</p>	<p>ア 生徒が主体的に取り組むホームルーム活動や学校行事を工夫し、生徒会活動の活性化とともに、生徒の参加率を高める。</p> <p>イ 生活体験発表を通して自己を客観的に見つめるとともに、自分の考え方や思いを伝える力を養う。</p> <p>ウ 演劇鑑賞会、お話の会、食事会等の魅力ある行事を企画し、文化・芸術活動に親しむとともに、生徒が積極的に他者と関わることができるよう指導する。</p> <p>エ 個人情報の取扱い、</p>	<p>ア・イ・ウ 各行事の参加率 80%以上、満足度 60%以上。</p> <p>各行事の事前・事後指導の実施 100%。 「人間関係が良い」と回答する生徒 70%以上。</p> <p>エ スマート</p>	A	<p>ア ◎バス遠足、ボウリング大会等の校外行事を実施できた。</p> <p>イ ◎生活体験発表に対する生徒の取組は約 80%の生徒が肯定的な回答をした。</p> <p>ウ ◎各行事の満足度は 77%程度で、参加率も約 86%だった。一方、「人間関係の良さ」は約 58%に留まった。</p> <p>エ ○スマートフォン使用に関</p>

		スマートフォン等の使用のあり方を含め、様々な場面で人権教育に取り組む。	フォンの不適切な使用による指導0件。		しては、概ね良好な状況であった。
5	より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。	<p>ア 夜間であることを意識した防災訓練、防災設備の点検・補充、通学路における危険箇所チェックを行う。</p> <p>イ ゴミの分別、美化活動を推進し、学習環境の整備を心掛けさせる。</p> <p>ウ 相談室の整備を含め、効果的な活用と相談体制を確立する。</p> <p>エ 情報管理システム及び組織体制の確立を進める。</p> <p>オ 無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に進行。</p> <p>カ 出席状況の報告、ミニミニ通信の配布等を通して、生徒の学習状況、教育活動の内容等を的確に情報発信する。</p>	<p>ア 防災訓練の実施年間2回。 地域防災訓練等への参加者数増加。</p> <p>イ 健康や安全に関する高い意識を持つ生徒75%。</p> <p>ウ 支援が必要だと判断した生徒への面談の実施、SCへの接続100%。</p> <p>エ 個人情報の取扱い等に関する不祥事0件。</p> <p>オ 不備・未実施等0件。</p> <p>カ 出欠報告、ミニミニ通信の発行年6回以上。 「通信などを読んでいる」と回答する保護者80%以上。</p>	A	<p>ア ○校内防災訓練は年2回実施して、生徒の防災意識を向上させた。地域防災訓練は参加生徒が1人であった。</p> <p>イ ○生徒はゴミ分別や美化活動に真面目に取り組んだ。健康や安全に関する意識を高めることは出来なかった。</p> <p>ウ ◎家庭環境等複雑な生徒も増加したが、外部人材と連携して対処できた。</p> <p>エ ◎情報流出がないよう管理を徹底している。</p> <p>オ ◎計画的な施設管理や消耗品購入等が実施できた。</p> <p>カ ○ミニミニ通信は年6回発行できた。 「通信などを読んでいる」と回答した保護者は約80%で、前年度と同程度だった。</p>